

第17章 母子世帯・父子世帯

1 母子世帯・父子世帯

母子世帯、父子世帯ともに減少傾向が続く

一般世帯のうち母子世帯は14,842世帯、世帯人員は37,330人で、前回調査と比べると世帯数は2,758世帯(15.7%)、世帯人員は7,146人(16.1%)の減少となっています。

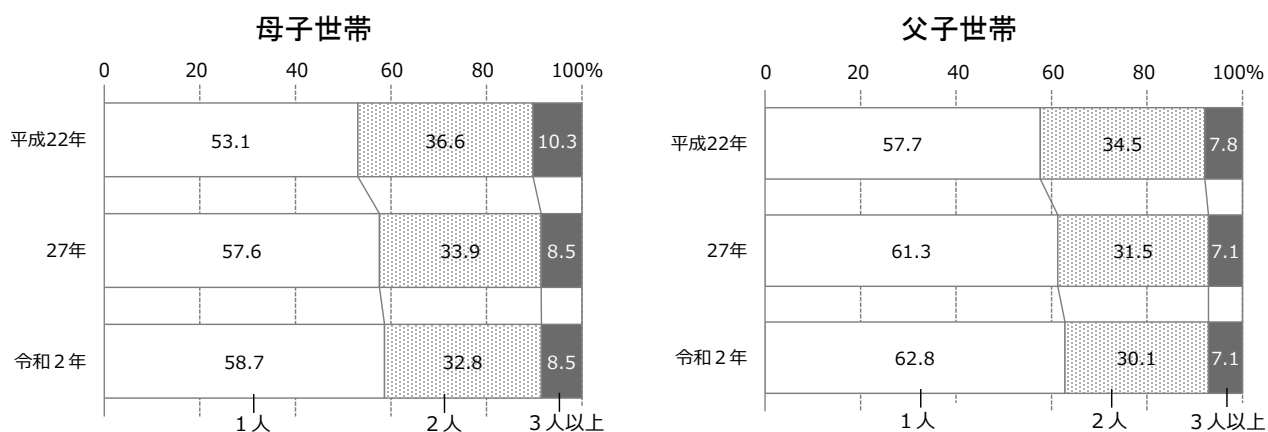
母子世帯の子供の数別割合をみると、子供が1人の世帯が58.7%、2人の世帯が32.8%、3人以上の世帯が8.5%となっており、前回調査と比べると、子供が1人の世帯の割合が1.1ポイント上昇し、子供が2人の世帯が1.1ポイント低下しています。

一方、父子世帯は1,943世帯、世帯人員は4,762人で、前回調査と比べると世帯数は181世帯(8.5%)、世帯人員は480人(9.2%)の減少となっています。

父子世帯の子供の数別割合をみると、子供が1人の世帯が62.8%、2人の世帯が30.1%、3人以上の世帯が7.1%となっており、前回調査と比べると、子供が1人の世帯の割合が1.5ポイント上昇、子供が2人の世帯が1.5ポイント低下となっています。

【表17-1、図17-1】

図17-1 母子世帯、父子世帯に占める子供の数別割合(平成22年~令和2年)



母子世帯、父子世帯ともに最年少の子供の年齢は6~11歳が最も多い

母子世帯の最年少の子供の年齢別割合をみると、小学生の年齢に当たる6~11歳がいる世帯が32.5%と最も高く、次いで高校生の年齢に当たる15~17歳がいる世帯が20.7%、中学生の年齢に当たる12~14歳がいる世帯が19.5%となっています。

父子世帯の最年少の子供の年齢別割合をみると、小学生の年齢に当たる6~11歳がいる世帯が26.1%と最も高く、次いで高校生の年齢に当たる15~17歳がいる世帯が23.5%、中学生の年齢に当たる12~14歳がいる世帯が21.5%となっています。

【表17-1、図17-2】

図17-2 母子世帯、父子世帯に占める最年少の子供の年齢別割合(令和2年)

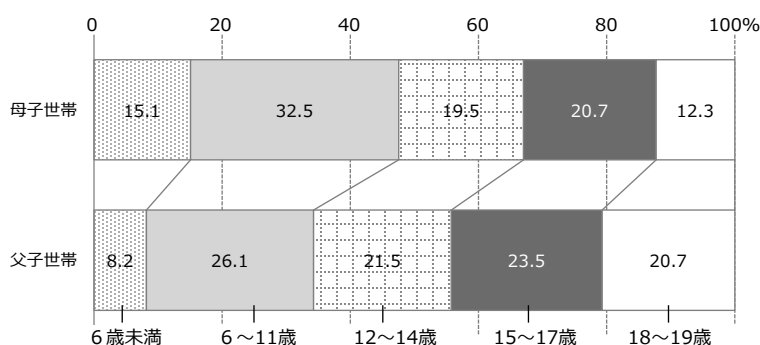


表 17-1 母子世帯数、父子世帯数及び世帯人員（平成 22 年～令和 2 年）

区分	実数			割合 (%)			増減数		増減率 (%)	
	平成 22年	27年	令和 2年	平成 22年	27年	令和 2年	平成22 ～27年	平成27～ 令和2年	平成22 ～27年	平成27～ 令和2年
一般世帯数	1,573,882	1,635,805	1,744,208	-	-	-	61,923	108,403	3.9	6.6
母子世帯										
世帯数	18,401	17,600	14,842	100.0	100.0	100.0	△801	△2,758	△4.4	△15.7
(子供の数)								0		
1人	9,769	10,138	8,706	53.1	57.6	58.7	369	△1,432	3.8	△14.1
2人	6,741	5,960	4,870	36.6	33.9	32.8	△781	△1,090	△11.6	△18.3
3人以上	1,891	1,502	1,266	10.3	8.5	8.5	△389	△236	△20.6	△15.7
(最年少の子供の年齢)								0		
6歳未満	3,302	2,942	2,236	17.9	16.7	15.1	△360	△706	△10.9	△24.0
6～11歳	6,528	5,598	4,825	35.5	31.8	32.5	△930	△773	△14.2	△13.8
12～14歳	3,785	3,700	2,889	20.6	21.0	19.5	△85	△811	△2.2	△21.9
15～17歳	3,218	3,590	3,071	17.5	20.4	20.7	372	△519	11.6	△14.5
18～19歳	1,568	1,770	1,821	8.5	10.1	12.3	202	51	12.9	2.9
世帯人員	47,697	44,476	37,330	-	-	-	△3,221	△7,146	△6.8	△16.1
1世帯当たり子供の数	1.59	1.53	1.52	-	-	-	△0.07	△0.01	-	-
父子世帯										
世帯数	2,742	2,124	1,943	100.0	100.0	100.0	△618	△181	△22.5	△8.5
(子供の数)										
1人	1,581	1,303	1,221	57.7	61.3	62.8	△278	△82	△17.6	△6.3
2人	946	670	584	34.5	31.5	30.1	△276	△86	△29.2	△12.8
3人以上	215	151	138	7.8	7.1	7.1	△64	△13	△29.8	△8.6
(最年少の子供の年齢)										
6歳未満	342	160	159	12.5	7.5	8.2	△182	△1	△53.2	△0.6
6～11歳	782	526	507	28.5	24.8	26.1	△256	△19	△32.7	△3.6
12～14歳	618	495	418	22.5	23.3	21.5	△123	△77	△19.9	△15.6
15～17歳	662	577	457	24.1	27.2	23.5	△85	△120	△12.8	△20.8
18～19歳	338	366	402	12.3	17.2	20.7	28	36	8.3	9.8
世帯人員	6,891	5,242	4,762	-	-	-	△1,649	△480	△23.9	△9.2
1世帯当たり子供の数	1.51	1.47	1.45	-	-	-	△0.05	△0.02	-	-

2 母子世帯の労働力状態

母子世帯の母親の労働力率は女性全体に比べて高い

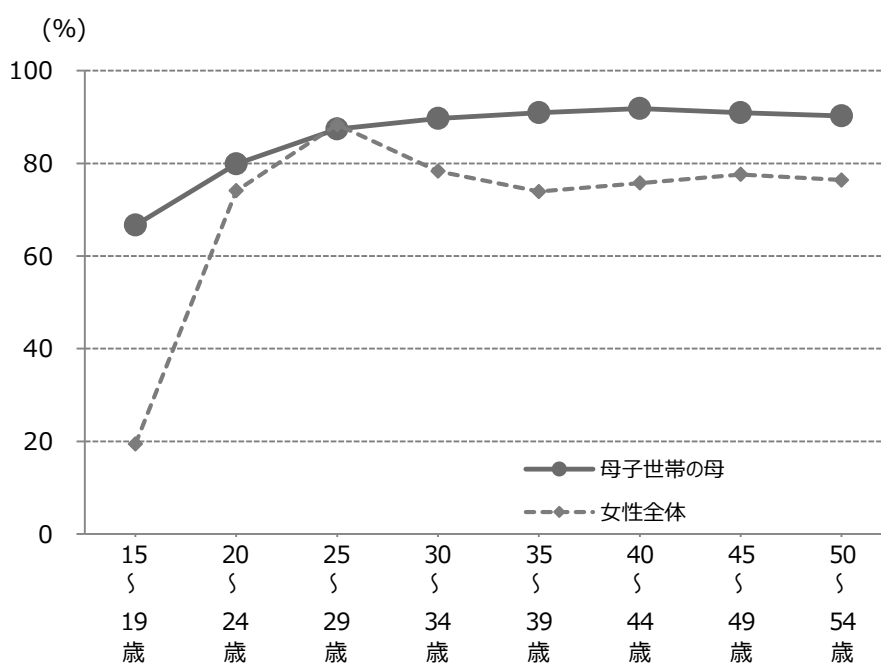
母子世帯の母（14,842人）の労働力状態をみると、労働力人口は12,126人（うち就業者11,529人）で、労働力率は90.4%となっています。

また、年齢階級別に労働力率をみると、40～44歳が91.8%と最も高く、次いで35～39歳（90.9%）、45～49歳（90.9%）となっています。

女性全体における年齢別労働力率では30～34歳の年齢階級以降で労働力率が低下するのに対し、母子世帯の母は低下が見られずほぼ一定の労働力率を保っています。

【表17-2、図17-3】

図17-3 母子世帯の母及び女性全体の年齢（5歳階級）別労働力率（令和2年）



注) 55歳以上の年齢階級は省略。
女性全体の労働力率は不詳補完値による。

表17-2 母子世帯の母の労働力状態別15歳以上人口及び労働力率（令和2年）

労働力状態	総数	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上
総数(人) ¹⁾	14,842	10	166	624	1,397	2,682	3,699	3,759	1,944	561
労働力人口	12,126	4	107	450	1,092	2,166	3,093	3,137	1,633	444
うち就業者	11,529	3	96	412	1,028	2,059	2,964	3,003	1,539	425
非労働力人口	1,285	2	27	65	126	216	275	313	177	84
労働力率(%)	90.4	66.7	79.9	87.4	89.7	90.9	91.8	90.9	90.2	84.1

1) 労働力状態「不詳」を含む。